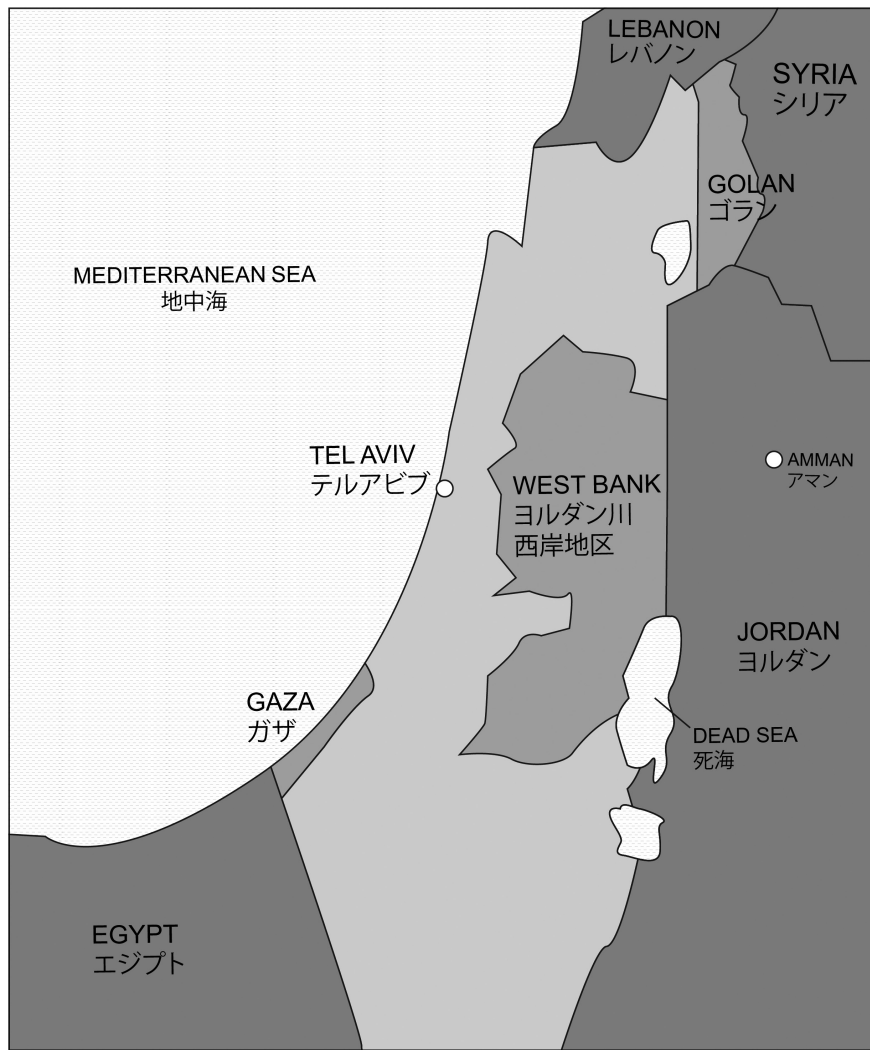




BLAH BLAH(ブラブラ)は地域、生活、政治そして時々スケートボードについて「下」からのヴォイスを届けるインタビューシリーズ。「下」とは「上」に属さないすべてのもの、つまり「現実」を指す。

**BLAH BLAH: an interview series about localities, (and life) politics, (and not) and sometimes skateboarding from BELOW; that is, everything not part of the above, that is, from reality.**



2

Printed at the Institute of Barbarian Books, Fall 2019

[www.barbarianbooks.institute](http://www.barbarianbooks.institute)  
[info@barbarianbooks.institute](mailto:info@barbarianbooks.institute)

[makeskateboardingradicalagain.tumblr.com](https://makeskateboardingradicalagain.tumblr.com)  
[willalexshum@protonmail.com](mailto:willalexshum@protonmail.com)

I am so grateful to have met Malak, Nadeen, and Zeina during the summer of 2019 when I visited Palestine. Their enthusiasm and determination reminded me of why I fell in love with skateboarding in the first place.

We talk about a few things and places that might need some explaining; first is the organization called SkatePal which is a U.K. based non-profit that has been supporting Palestinian youth through skateboarding and various related projects since around 2013. The second is the Sareyyet youth club in Ramallah which is where SkatePal was holding classes this summer. Third is “Rosa Park,” the skatepark located just outside Nablus in Asira Al-Shamaliya. SkatePal also constructed this park and hosts a different set of volunteers and classes there throughout the year. While I was there I was lucky enough to accompany some skaters from Ramallah as they visited the park for the first time. You can refer to the maps on the inside cover for a rough idea of where these places are.

I wish to thank Malak, Nadeen, and Zeina a lot for taking the time to talk with me and allowing this zine to be printed. Thank you to Momoe for the translations and illustrations. This conversation took place on August 17, 2019 and though it’s short, I hope to interview them again soon.

2019年夏、私が初めて訪れたパレスチナの地でマラック、ナディーン、ゼイナに出会えたことを心から嬉しく思う。彼女たちの熱意と決意は、そもそも私がなぜスケートボードに恋をしたのかを思い出させてくれた。

インタビュー中に出てくる団体や場所についてあらかじめ簡単に説明をしておきたいものがある。まず「SkatePal」は2013年頃からスケートボードやさまざまな関連プロジェクトを通じてパレスチナの若者を支援してきたイギリス拠点の非営利団体。そしてそのSkatePalがこの夏スケートボードのクラスを開催していたのがラマッラーにある「サレイエット・ユースクラブ」である。さいごに、「ロサパーク」はアシーラ・アル・シャマリヤにあるナブラスのすぐ外にあるスケートパークだ。SkatePalにより建設され、年間を通してさまざまなボランティアがスケートボードのクラスを開催している。幸運なことに私は今回の滞在中に、まだロサパークに行ったことがないラマッラーの若いスケーターをロサパークに連れて行くフィールドトリップをSkatePalのボランティアのみんなと企画し実行することができた。ラマッラーやナブラスなどそれぞれの土地の大まかな位置関係はマップを参照してほしい。

このZINEの制作に快く協力してくれたマラック、ナディーン、ゼイナに感謝を伝えたい。そして翻訳とイラストを提供してくれたMomoeにも、このインタビューは2019年8月17日にスカイプを使って行われた。今回は短かったが、またすぐにも彼女たちにインタビューしたい。

3

**ウィル:じゃあまず自己紹介を。名前、年齢、スケートボード歴を教えてください?**

ゼイナ(以下Z):ゼイナです。17歳。スケート歴は3、4ヶ月かな。

ナディーン(以下N):私はナディーン・ザハラン、14歳。スケートを始めて1ヶ月くらい。

マラック(以下M):マラック、15歳。約1年くらいスケートしてます。

**みんな最初どのようにしてスケートを始めたの?**

Z:1年前に、ジャーナリストの仕事をしている友人のお母さんと一緒にジェイコス・スケートパークに行ったんだ。そこでスケートをしている子供たちに「このスケートパークは誰が造ったの?」と尋ねたらみんながSkatePalのことを教えてくれたんだ。それからすぐSkatePalのインスタグラムをフォローして、サレイエット・クラブでスケートボードのクラスをやっているのを知って。そのクラスに通い始めてからスケートボードについてもっと興味を持ったんだ。

N:私はもともとスケートボードにはあまり興味がなかったんだけど、ゼイナが教えてくれて。私もサレイエット・クラブに来てからスケートし始めた。

M:私が初めてスケートボードの存在を知ったのは実は漫画だったの。「アンジェロルール」って漫画、聞いたことある?

**聞いたことないな...けど調べてみるよ!**

M:うん。それである日私が家に座ってFacebookをなんとなく見ていた時に、サレイエット・クラブでスケートクラスがあるという投稿を偶然見つけて行ってみたんだ。そこからどんどんスケートにハマっていった!

**君たちがスケートに夢中になった今、それを取り巻くカルチャーにも興味があるのかな?**

**YouTubeのスケートビデオとか?**

M:もちろん!ベリックスとか、スケートゲームとかも好きだよ。

Z:私もいつもインスタグラムやユーチューブでスケートの動画を見たりするかな。

N:そうそうスケートを始めてからはスケートに関係のあるページをひたすら全部フォローしたよ。出来るようになりたいトリックの動画もたくさんユーチューブで見たな。私の部屋の壁もスケートのポスターでいっぱいだし。ゼイナとはいつもスケートの情報交換してる!

**とくに好きなスケーターはいる?**

Z:多分私は...トニー・ホーク。彼は本当にすごい。

M:私はライアン・シェックラー!

N:うーん、私はパレスチナのスケーターかな。たとえばアラムとかマエン。パレスチナ出身でとてもうまくやっているから本当に尊敬してるんだ。

Z:あとライアン・レイね!

N&M:もちろん!

N:でもやっぱり私が一番好きなスケーターはアラムかな!素敵で優しくて、心から誇りに思えるスケーター。彼が他の国に行ってパレスチナや私たちのことを伝えてくれているのは本当にクールなことだし、とっても尊敬してる。

**まさにその辺のことについてもっと詳しく聞きたいんだけど、みんなは現在のパレスチナのスケートカルチャーについて何か思うことはある?**

Z:そうだな、ラマッラーのスケートシーンが大きくなったらいいなって本当に思う。アシーラの子供達はスケートが上手ですごい速さで上達しているから、できるだけ早くスケートパークを建設してほしい。ここのシーンがこの先成長して行くのが楽しみ。

M:私がスケートをしているのを見て「スケートの仕方を教えて!」って聞いてくる人が周りには結構たくさんいるよ。そうやっているいろんな人がスケートボードに夢中になって、スケーターになっていくんだよね。スケートボードってそれくらいクールなこと!

N:そうそう!

Z:でもやっぱりほとんどの人はスケートボードについてあまり知らない。この辺の人は特に。

N:そう、ただスケートボードを持っているだけで色々聞かれる。スケートボードのクラスや他にもいろんなアクティビティがあるってことを教えるとみんな驚くよ。クールだなーって。特にパレスチナの人々にとって、取り組むことができる「何か」がとにかく必要なんだよね。

Z:彼らに自由を与えることができる「何か」。

N:そう、その通り。

N:パレスチナの状況...そう。ここの子供たちはみんな特別な気分になったり、自分の人生で何かをしているように感じたり、自由を感じたりできるものを必要とする。スケートボードはスポーツだと思うけど、他のスポーツとは全然違う。

Z:そうだね、スケートボードは自分を表現する方法...

N:スケートボードはその概念自体がすごく美しいと思う。試行錯誤を重ねて挑戦し続ける諦めない気持ち。

Z:いろんなことに忍耐強くなることも教えてくれる。

N:そうだね。

M:それからスケーター同士の違いは無いって感じる。

Z:みんな平等...

M:になりたい自分になれるって感じ!

Z:あとスケーターはいつもお互いを支え合っているように感じる。もし誰かが新しいトリックを成功させたら、周りの人たちも本人と同じくらい喜んでくれるんだ。

N:そう!みんなとても協力的。

Z:みんなで応援してくれて、勇気付けてくれる。

N:ここではみんな家族のようなものだと思うな。

M:家族だね!

**SkatePal**についてはどう思う？スケートボード文化がパレスチナに広がった一つのきっかけでもある彼らの存在はやっぱり重要？彼らとの活動はいい経験になっている？

Z: うん、SkatePalはとてうまくやっているよ。彼らはパレスチナの外からスケーターを連れてきてスケートボードを学ぶサポートをしてくれる。ここではボードを手に入れる方法がないからSkatePalは私たちにボードも提供してくれるんだ。ここにスケートショップがないのは本当につらいよ。もともとスケートパークもないから、SkatePalがいることで可能になっていることがたくさんあると思う。

N: その通り。

M: SkatePalは素晴らしい団体。

N: 外からやってくるスケーターは私たちにスケートを教えてくれて、私たちはそのスケーターたちにパレスチナの状態を教える...だからお互いにとって良い学びを得られているんじゃないかなって思った。パレスチナっていう場所は他の国とは全く違う。だから私はこのSkatePalの活動は外に住んでいる人々に本当のパレスチナを見て、知ってもらうことに繋がると思うんだ。

Z: うん、それはスケートボードだけじゃなくて文化を知ることでもあるよね。

N: パレスチナとイスラエル間の紛争について考える上で、私たちやSkatePalのこと、他にもいろんな取り組みがあることを知るのはとても重要だと思う。だからSkatePalを通して私たちの声を聞いてもらえるのは本当に素晴らしい。パレスチナの現状について声を上げることは、私たちにとって時々すごく難しいことだから。

6

**スケートボードが、より大きなアイデアを伝えるチャンネルになることができるのは本当にクールなことだね。**

N: 今思ったんだけど、私たちは刑務所にいるような気持ちにならないための「何か」が必要なんだよね。

M: そう！

N: とにかく私たちは「何か」をしている。それがスケートボード。ポジティブなアクティビティ。

Z: それは本当の自分自身をおもてに出すための脱出方法みたいなもの。

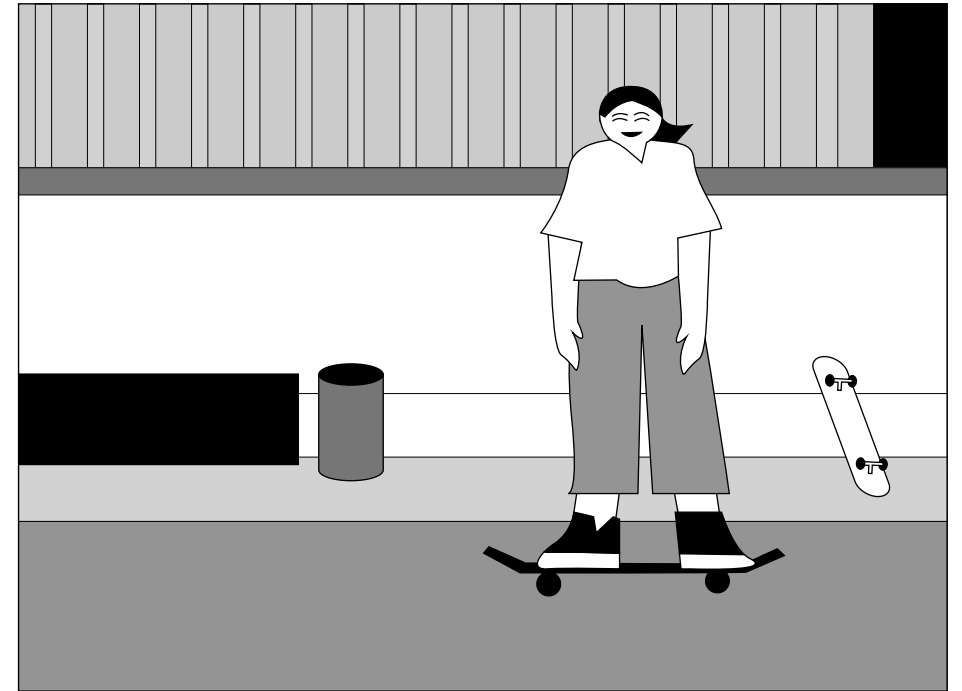
Z: ラマッラーにある普通の公園でスケートすると時々追い出されることがあるから、スケートボード専用のスペースがあることもすごく大事だなと思う。

N: うん、今はサレイエットでスケートをしているんだけどその状況もあまり良くないね...公園で働いている人たちは問題が起きるいつも私たちスケーターのせいにするし、スケートはかっこいいものじゃないって思ってる。もしくはあまりにも普通に簡単すぎるものだって...

M: もしくは悪いもの。

Z: そう、だから私たちにスケートパークが必要！

N: サレイエットの子供たちがスケートをバカにしたり、女子がスケートしてるなんておかしいとか言って来た時はすごく怒ったよ...ほんとうにムカつく！



7

**君たちにそういうことを言うてくるのはサレイエットの公園でバスケットボールやサッカーをしている男の子？公園を管理している大人たちも言うてくるの？**

Z: うん、みんな。

**それはすごく残念だな...でも嬉しいニュースもあるよね。近々ラマッラーにもスケートパークができるんだとか！スケートパークとスケートショップのほかに、ラマッラーのスケートの未来のために望むことはある？**

Z: もちろん。ここではスケートボードについて知らない人が多いから、とにかくもっといろんな人に知って欲しい。

M: うん。それからスケートボードに対してポジティブな考えを持ってもらうことも。その考え方が変われば、多分自分自身と自分の国も変えることが出来ると思う。誰もがより良い人間になれるかもしれない。もしかしたら、スケートボードから平和な世界が生まれることもあるかもしれない！

Z&N: そのとおり！

Z: 心を解放して学ぶことは本当に大切だと思う。

N:それからすべての人々とそれぞれの考え方を尊重すべき。どんな人にも人生において自分を変えた事故や出来事があったと思う。それが私にとってスケートボードだった。スケートボードは私自身を大きく変えてくれたんだ…もちろん、悪い方にじゃなく良い方にね!

**僕も同じだよ!**

Z:そう、だからみんな間違いなくスケートボードについてもっと学ぶべきだと思う。

N:イベントとかを開催してスケートボードについて話したり、SkatePalについて共有することができたら良いな。

**みんなでプラザにスケートをしに行った時のこと覚えている?そこに座っていた男の人たちは、みんながスケートしているのを見てとても感銘を受けていたよ。こういうことが、男性の多くのことに対する認識や、彼ら自身が住む都市や共に生きる人々の見方を本当に変えると思うんだ。**

Z:実際あの人達、試しにスケートしてみたらみんなすぐ好きになってたよね!

N&M:そうそう!

Z:私が初めてナディーンにスケートのクラスについて話したときだって、彼女は「私そういうのあんまり得意じゃない」みたいな感じだったんだよ。それが今は…

N:24時間年中無休でスケートのことについて話してる!

8

さて、パレスチナについて多くの人が誤解していることがあると思う。とにかく状況を知らない人がたくさんいる。スケーターでも、パレスチナにスケートカルチャーがあることすら知らない人がほとんどだろう。そういったスケーターたちがパレスチナとのコミュニケーションの窓を開く方法についてみんなからアドバイスがあったら教えて欲しい。

N:まずは自分で色々調べて、パレスチナ人またはパレスチナのスケーターとつながるべきだと思う。ウェブサイトやオンラインミーティングなどを通して私たちの話を共有したりすることもできるし、そうやって日本や色んな国の人々がパレスチナについて学んでくれたら嬉しいな。

Z:SkatePalを通してここに来るボランティアの人たちは自分の国に戻ったときにここでの経験を周りの人に共有して、パレスチナの現状についてみんなと話すべきだと思う。

M:そう、その通り。

N:だから私とゼイナはいつもボランティアの人たちを美術館に連れて行くんだ。この土地の文化を学んでほしいから。ヤセルアラファト博物館で私たちに会ったときのこと覚えている?

**うん覚えている。あれは本当に面白かった。その時はまだ3人のことを知らなかったけど、みんながスケーターだってことはすぐにわかったよ。**

N:うん!だから基本的にボランティアが来たときは私たちはここの状況について話したり、博物館に連れて行くようにしてるんだ…

Z:そうしたら彼らが家に帰った時に周りの人に話すことができる。もっと多くの人にもっとパレスチナについて知ってもらうためにはそれが一番良い方法。

N:実際、ここに来た多くのボランティアはあまりパレスチナの現状を知らなかったのでもショックを受けたんだ。そのほとんどはイスラエルと関係がある国から来た人たちで…

**たくさんのイギリス人とアメリカ人…**

N:そのとおり。私たちの話を聞いた彼らは決まって「なんてこった、これはひどい。パレスチナについて何も知らなかった。私たちの学校ではこんなことひとつも教えてくれなかった!」って反応するんだ。だからやっぱり私たちは話すべきだし、彼らも周りと共有するべきだと思う。

Z:そしてマエンやアラムのようなパレスチナのスケーターも、ここのスケートカルチャーについて外に発信し続けるべきだと思うな。

**間違いないね。他にも僕が衝撃を受けのは、君たち3人がまさに今パレスチナのスケートカルチャーのスタート地点に立っているということ。興味深い点はたくさんあるんだけど、特にパレスチナでスケートボードに関わっている人の割合が男の子と女の子ほぼ同じくらいなんじゃないかなって印象を受けて驚いたんだ。合っているかな?**

Z:それは本当だと思う。

N:私たちにとってスケートをする人同士に違いはないけど、ここ(ラマッラー)でさえ、女の子にできないことが多いんだ。例えば自分でバイクに乗ったりするような簡単なことも。

M:やりたいことができない。

N:そう。だからスケートボードはパレスチナにとって良いこと、多くの女の子にとってもすごく良いことだって…そういう流れになっていったら最高じゃない?面白いのは私たちはスケートをする最初の世代の女の子だから、ここで女の子としてスケーターの良いイメージを作るべきだと思うんだ。

M:だから私たちは色々取り組んでいる。

Z:でもやっぱり一部の人たちはスケートボードに対して大きく違う考えを持っているよね…

N:そう。スケートボードについて聞いてくる人たちの約半分は私が何をやっているのか、なぜスケートをしているのかに興味を持ってくれるけど、残りの半分は私がスケートボードを持っているからといって意地悪なことを言って来たりする。

Z:そういう人たちはスケートが本当のスポーツではないって思ってる。

M:うん…

9

でもどんな状況であっても君たちは、始めたばかりのスケーターがいたらいつでも振り向いてスケートを教えているよね。

M:うん、いつも。

N:以前私とゼイナは2人の子供にスケートを教えていたことがあったんだけど、私たちその2人のことまったく知らなかったの。知っていたのはラマッラー出身ではないということだけ。それなのに、私たちはもう彼らの手を握って教えていた。スケーターはみんな素晴らしい人たちだよって彼らに教えてあげることができて本当に嬉しかったの。

M:私はいつもサレイエツで教えようとしてる、だいたい場合は子供たちに。試しにやってみない?って。

N:プラザでは時々親が私たちに、自分の子供ののにスケートを教えて欲しいって頼んでくることあるよ。幼い頃に私の周りにもスケートを教えてくれる人がいたら最高に幸せだったろうなって思うから、私も今の子供達に機会を与えたいって思うんだ。

一つ一つの取り組みは決して簡単なことじゃないよね。君たちには本当にインスパイアされるよ。たとえばさっきも言っていたようにサレイエツでは「女子のくせに」と意地悪を言ってくる男の子達がいるけど、君たちは決してスケートすることを止めない。そして何よりも実際その男の子達より何倍もスケートがうまいんだから僕は単純にすごく嬉しいんだ。君たちが立っているのは「スタート地点」…ここからパレスチナのスケートカルチャーを作り出して行くチャンス握ってる。君たちの手の中であれば、きっと素晴らしいものになって行くに違いないよ!

N:私たちもそう信じて取り組んでいるよ!ウィルに約束する!

Z&M:約束!

スケートボードにはルールがないから、好きなように教えられるのがいいよね。でも僕がみんなくらいの年齢だったときは正直自分より年下の子供たちにスケートを教えることに興味を持てなかったな…

Z:たぶん、子供達にももっとスケートボードについて学んで広めてもらって、ここのスケートシーンを成長させてほしいと思っているからだと思うな。

君たちがここのスケートコミュニティを作っているんだね!それから、アシーラでの経験について少し聞きたかったんだ。あれから少し時間が経っているけど、あの日初めてみんなでロサパークに行ってスケートしてみてどんな印象を持った?

Z:私は、最高の気分だった!

M:本当のスケーターになったような、本当に自分が「何か」をしているような気分だったな。

N:正直言って、私にとっては変な日だったよ。楽しんではいったんだけど、それでもなかった…たくさんトリックをしようとしたんだけど、できなかったのもあったから。でも地元の子供たちを見たら勇気が出たんだ。彼らがスケートする姿はとってもクールで、諦めずに

続けようって私の背中を押してくれた。それからあの日ウィルが私にカメラをくれたとき、自分の中でいろんな変化が起きたような気がするんだ。

本当に?!

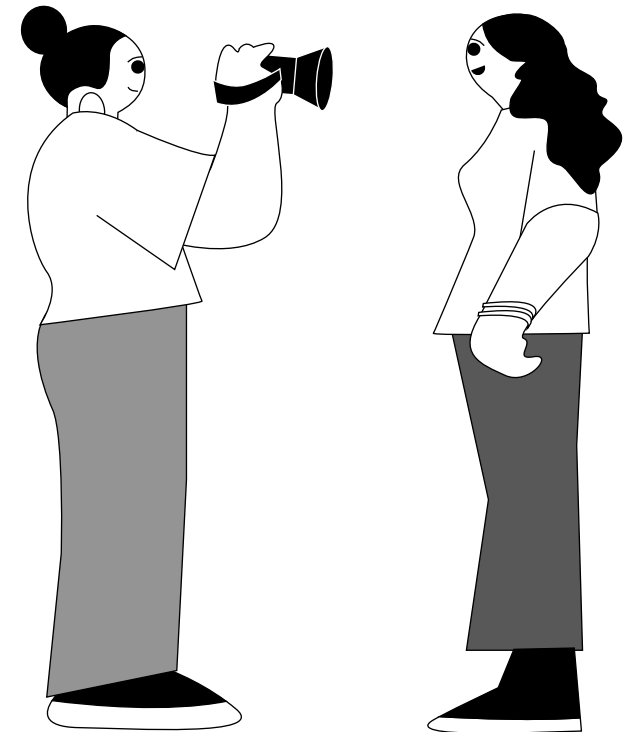
N:今ではカメラを毎日持ち歩いていつも撮影してる!ケイシャが編集方法を教えてくれるって言っていたから、すごく楽しみ。やりたいことがたくさんあるんだ…そう、あの日の出来事は私を変えた。本当に、私の人生がまるっきり変わった!

Z:それから、あの日スケートパークにいたのはスケーターだけでサッカーする人がいなかったのは嬉しかったな。

M:そうだね。

Z:あと地元の子供たちが本当にクールで、私も彼らみたいになりたいなって思ったな。

N:時にはジェラシーを感じるのもいいことだね。私もやらなきゃって感じさせてくれる。私自身の半分はジェラシーを感じているけど、残りの半分はやらなきゃ始まらないよって思っている。やるべきだよって。あの日は本当に良い日だったな…絶対に忘れないと思う。



ビデオを通して見るスケートボードと、実際に目の前でみるスケートボードは全然違うからね。より深く理解するのに役立つのは間違いない。

N: そうですね、ウィルとマエンがあのトリックをやるようとしていた日のことを覚えている？ 私たちもそこにいたんだけど、どこだったかな…

**広場で？サレイエットで？**

N: ああ場所では…

**鉄道だ！**

M: 鉄道？

**ルカブ通りの！**

N: 以前にもっと危険なトリックに挑戦してるビデオは見たことがあるけど…実際にそれを試している人を見たのは初めてですごく怖かった！2人に危ないことが何も起こらないように祈っていたよ…同時にすごく面白かったけど。見ていて怖かったよあれは。

Z: そうだね。キックフリップをしている人のビデオを見ると簡単そうで私にもできそうだな～なんて思うけど、実際は全然違う！

M: ハハハ

12 **オーケー。じゃあ最後に、読者に共有したいインスピレーションを教えてください？**

M: スケートボードと関係があったほうが良い？

**いや、何でも構わないよ！**

Z: 私は、インスタグラムの動画でスケーターが諦めずに試みている姿にすごくインスパイアされてる。本当にひどく転んだりする人もいるけど、何度も何度も挑戦して諦めない！

N: 私も同じ。SNSに上がっている動画でスケーターたちは本当にひどい転倒をしてるのに、それでも彼らは諦めずにやるからすごい。あと、こんなこともあった…私たちがアシーラのスケートパークにいたとき、アラムがあるトリックに挑戦していたのね。彼すごく疲れていて、何か危ないことが起きるんじゃないかって私は本当に心配だったんだ…だってアラム、すごい量の汗をかいていて目もうまく開けられていなかったからこのままじゃ…

M: 失神しちゃうかも？

N: そう。私はもう止めなよって言ったんだけど彼は「ナディーンは来ないで！やらなきゃいけないんだ」って。そうして結局彼はトリックを成功して、本当に幸せそうだったの！心から感動したな、あの時。何事もあきらめちゃいけないんだって。スケートだけでなく何でも！スケートを始めたとき転んで怪我をするだろうなってわかっていたけど、それだけの価値があるんだって実感してる。あの時私はアラムに座って休むように言ったけど、彼は私の目を見て「やらなくちゃいけない」と言った。そして彼はトリックを成功させて最高の幸せを感じ

ることができた…この出来事は本当に私の心に触れたんだ。私を変えたと思う。

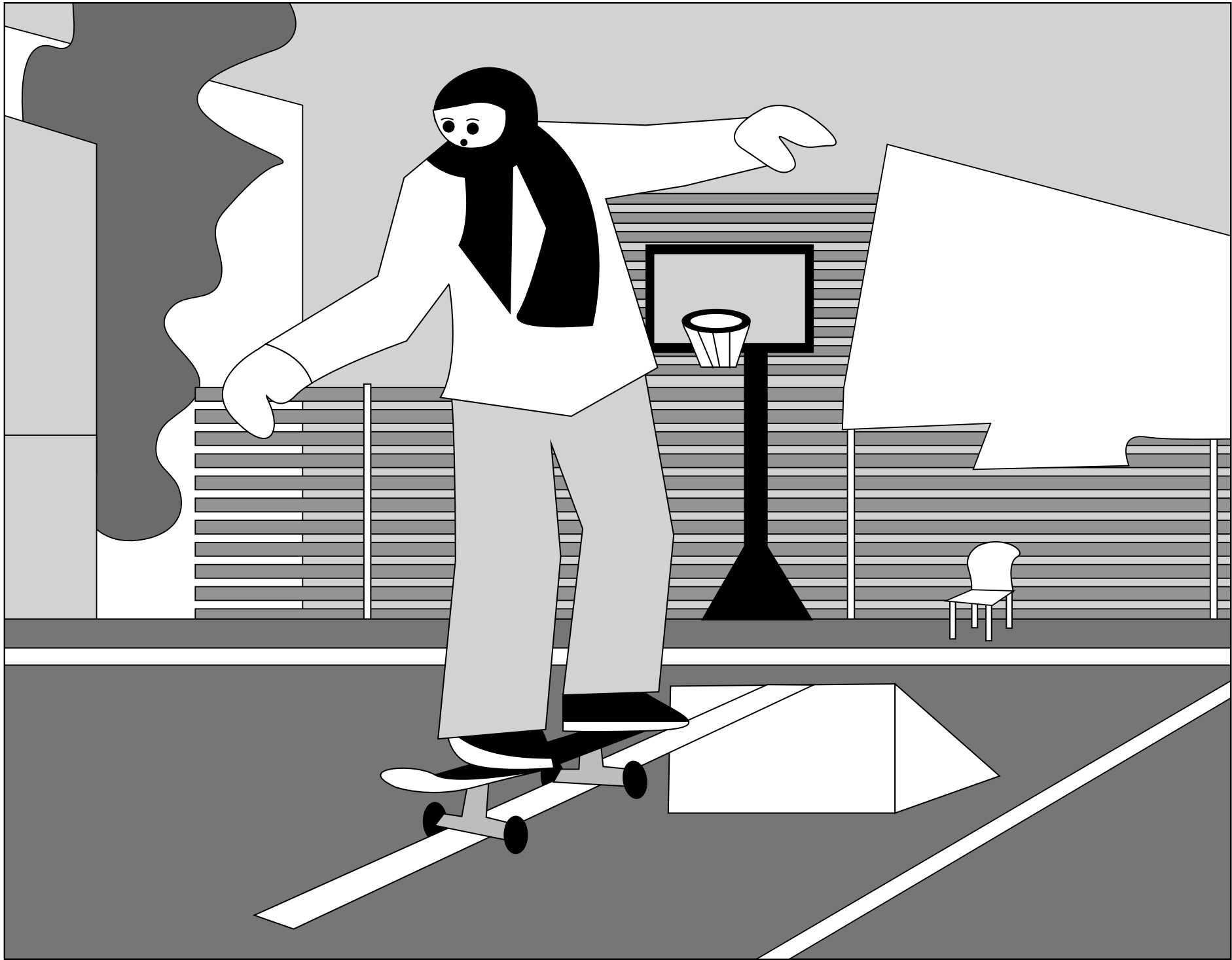
M: 2人が言ったことすべてに私も共感。私にとって大切なインスピレーションの1つであるスケートビデオの中ではすべての人が協力的。実際、私がスケートをしているときも周りの人々はみんな私を支えてくれて、練習し続けて色々な新しいトリックに挑戦してみようって背中を押してくれる…その気持ちに本当にインスパイアされる。そう、ナディーンが言ったように常にあきらめずに挑戦し続ける人がついにトリックを成功させて着陸するその瞬間と言ったら！もう本当に、本当に、ハッピーな瞬間。

N: 50-50のグラインドはとても大変だったけど、私がついに成功したときは思わず叫び声を上げてみんなに報告しちゃったもんね！私が知っている人知らない人関係無しにとにかく嬉しくて報告してた。ケイシャに写真を撮ってと頼んでSNSの色んな所に投稿したよ。

Z: 私は最近顔や腰から転んでその翌日おばあちゃんと叔母叔父に会った時にはスケートを止めなさいって言われたよ。また怪我をするから。でもそう言われれば言われるほど、私はもっとスケートを続けたいと感じるんだ。「いや！私は絶対にやめない！」ってね。

N: 私も手首を痛めたときに母からスケートをやめるべきだって言われたけど「一度倒れたくらいでスケートをやめたらもう一生スケートなんてできないよ！」って言い返したよ。そんなこと言われても気にしない。私はスケートし続ける！

**みんな話を聞いていると、自分が初めてスケートに出会って無我夢中になっていた子供の頃を思い出すよ！ぼくも全く同じ経験をした。私たちの人生において欠かせない重要な存在、スケートボードのおかげで今こうやってみんなと出会えたことを心から嬉しく感じるよ。たくさん話してくれてありがとう！**





**WILL: So for introductions, can every say their names, age, and how long they've been skating?**

**ZEINA:** My name is Zeina, I'm 17 years old, I've been skating for 3 or 4 months.

**NADEEN:** My name is Nadeen Zahran, I'm 14 years old, and I've been skating for one month.

**MALAK:** I'm Malak, I'm 15 years old, I've been skating since about one year ago.

**W: And how did you all first get into skating?**

**Z:** One year ago I went to Jayyous skatepark with my friend's mom who's a journalist. I asked the kids skating there who built the skatepark and they told me about SkatePal. I started to follow them on Instagram and I found out about the lessons at the Sareyyet club. I started going there and that's how I got to know more about skateboarding.

**N:** I wasn't really interested about skating, but then Zeina told me about it and I came to Sareyyet and I started to skate!

**M:** Actually I first knew about skateboarding from cartoons. There is "Angelo Rules" if you ever heard of that.

**W: I haven't but I'll look it up.**

**M:** Yeah. And there was a time when I was sitting in my house and scrolling on Facebook and I saw a post for Sareyyet. It said there will be skate classes so I also started going and getting more into skateboarding from there.

**W: Now that you guys are into it, do you also pay attention to the culture around it? Are there any skaters you look up to? Or any videos you watch on YouTube?**

**M:** Yeah I do! There is Berrics, stuff like the games of S.K.A.T.E.

**Z:** I always watch skating videos on Instagram, also skating movies.

**N:** Yeah when I started skating, I followed all the pages that had anything to do with skating. And I watched a lot of videos on YouTube about tricks, that kind of stuff. Also, all the posters hanging on my wall are just about skating. Now me and Zeina always send skating stuff to each other.

**W: Who's one of your favorite skaters?**

**Z:** Maybe it's Tony Hawk. He's awesome.

**M:** My favorite skater was Ryan sheckler in the first months of being a skater. But now I have other favorites like Ryan Lay, Andy Anderson, and

actually just all the skaters who are supporting the skate scene here to be better and volunteering with skatepal.

**N:** Actually I like skaters from Palestine. Maybe Aram, or Maen, because they are from Palestine and they're doing so well! So I look up to them. Maybe my favorite is Aram, he's so good and he's also so nice! I'm so proud of him. I see him teaching and talking about us in other countries and it's just so cool, that's why I look up to him!

**W: Speaking of it, what do you guys think of the current skateboarding culture in Palestine?**

**Z:** Yeah, I really want to see the scene grow bigger in Ramallah. I want them to build a skatepark as soon as possible because the kids at Asira are so good and progressing so fast. I would love to see the scene here grow.

**M:** I know a lot of people who are seeing me skating and they're just like, "you have to teach me how to skate!" When I meet people who see me now they often ask me to teach them and help them get into skateboarding and become skaters because it's something that's really cool.

**N:** Yeah!

**Z:** But most people don't really know about skateboarding, it's not a thing here.

**N:** When I'm just holding my skateboard people always ask me and a lot of them think it's so cool that there's classes and stuff. Especially for the people here in Palestine, they really want something that can help them do something...

**Z:** Something that gives them freedom

**N:** Yeah, exactly.

**N:** The situation here... So all the kids need anything that makes them feel special, makes them feel like they are doing something with their lives, makes them feel like they are free. And I think skateboarding is a sport, but it's nothing like the other sports.

**Z:** Yeah, it's a way to express yourself...

**N:** The idea of it is so beautiful; you keep trying and trying and trying and you shouldn't give up!

**Z:** It also teaches you to be patient about stuff.

**N:** Yeah that's true.

**M:** And there's no differences between the skaters.

**Z:** Everyone is equal.

**M:** You can be whoever you want!

**Z:** And I feel like skaters are always supporting each other. Like if you

land a new trick people will be happy for you.

**N:** Yeah! When I do anything, people are so supportive.

**Z:** They will cheer you up.

**N:** We're like a family here.

**M:** A family, exactly.

**W:** What do you guys think about SkatePal and the importance that it had in bringing a part of skateboarding to Palestine? Has it been a good experience?

**Z:** Yes, SkatePal is doing so good. They bring skaters and they help us learn how to do stuff. SkatePal is also bringing us skateboards since we have no way of getting boards. There's no skateshops here so it's hard for us. And we don't have a skatepark, so if it wasn't for SkatePal it would be very different.

**N:** Yes!

**M:** They're an amazing organization of people.

**N:** I also think that it has been good for both of us because they bring people here to teach us how to skate and we can teach them about the situation in Palestine. I think Palestine is such a different place compared to different countries. So I think that the people that live outside can have a chance to see the true parts, get to know the real Palestine.

**Z:** Yeah, it's not all about skateboarding, it's also about getting to know the culture.

**N:** Getting to know about the conflict between us and the Israelis, I think all of this stuff is so important to know for these people. I think it's so great they can hear our voice because it's so hard to get it out sometimes.

**W:** It's so cool that skateboarding can be the channel to communicate these bigger ideas...

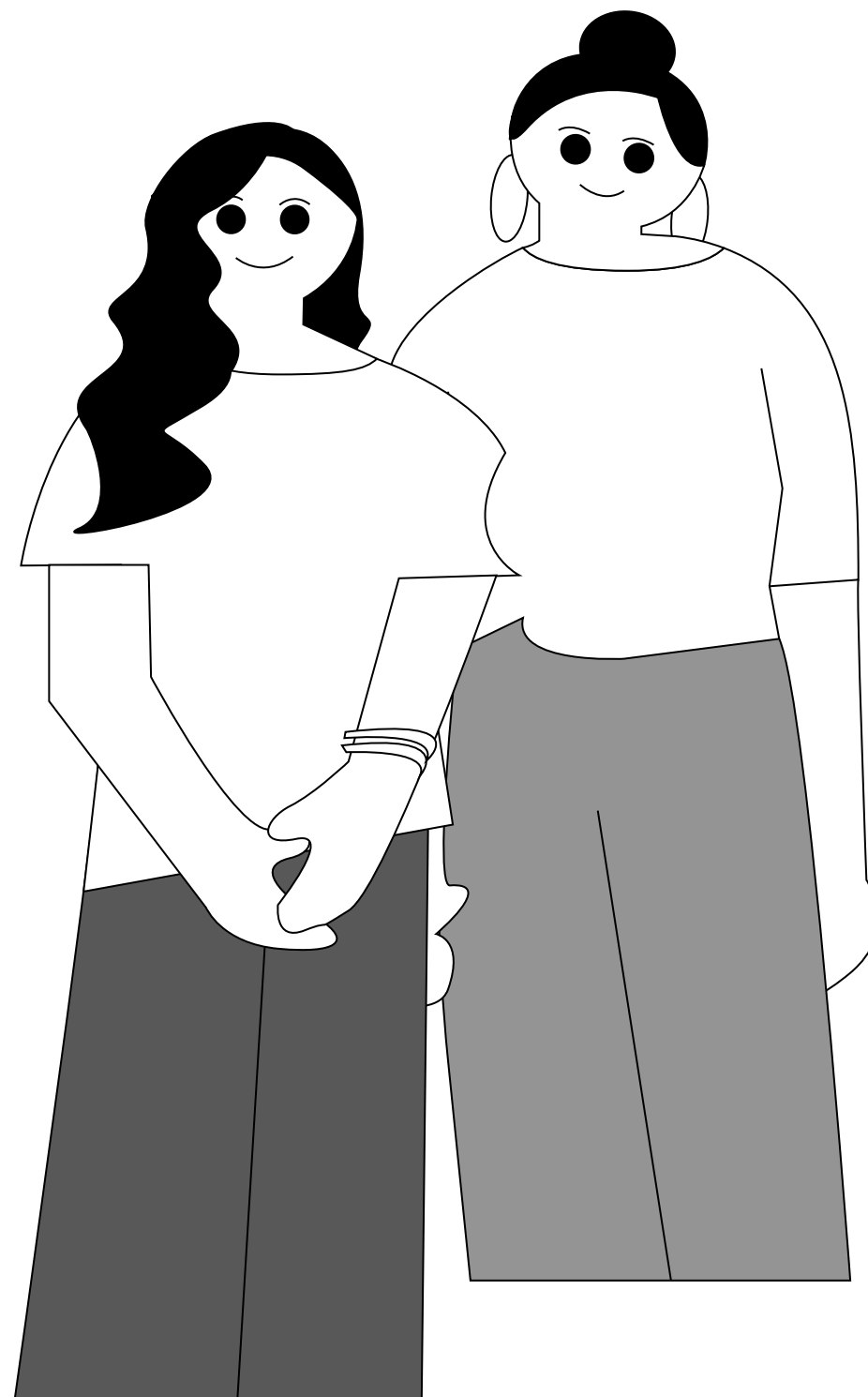
**N:** And like I think here we need anything just to make us feel like we're not in a prison.

**M:** Yeah!

**N:** We're doing something, and skating is a positive thing.

**Z:** It's really a way to break out, to also show people who you are. But-sometimes we get kicked out of normal parks (in Ramallah), so having a space is very important too.

**N:** Yeah we are skating in Sareyyet now but the situation there is not so good either... The people that work there always blame us for problems, and the people think that skating is such a uncool thing. Or that it's too normal or easy...



**M:** Or it's a bad thing.

**Z:** We need a skatepark!

**N:** It makes me mad when the kids at Sareyyet told us that this is so stupid, or when they made fun of the boys because they were playing S.K.A.T.E, or when they make fun of girls because they think it's not for girls... this makes me really mad!

**W:** These are the boys at Sareyyet right, the ones that play basketball and soccer? Or the organizers of the park too?

**Z:** Yeah, everyone.

**W:** That's too bad. The good news is it seems like a real park in Ramallah is just coming very soon! But besides a skatepark and a skateshop, is there any other things you'd like to see for the future of skating in Ramallah?

**Z:** Yeah of course. People here don't know about skateboarding so they should know more about it!

**M:** Yeah and also to have good ideas about skateboarding. That this is maybe something that can change themselves and their country, and be a better person. Maybe there will be peace from skateboarding, who knows!

**Z&N:** Yes!

**Z:** It's so important to free your minds and learn.

**N:** And to respect all people and ideas. I think that each person had an accident or event that changed them and I think that was skateboarding for me. It changed me so much, but to the good side, not to the bad side!

**W:** Me too!

**Z:** So people should definitely learn more about skateboarding.

**N:** We can do events to talk about skateboarding, or talk about SkatePal, we can go to schools, do all this stuff...

**W:** Do you guys also remember when we were skating at the plaza? All those men were sitting there watching and becoming very impressed. I think it really changes their perception of a lot of things, the way they see their own city and their own people....

**Z:** And everyone who tried skateboarding—they love it right away!

**N&M:** Yeah!

**Z:** Like when I first told Nadeen about the lessons, she was like, "It's not really my thing,"and now...

**N:** I'm talking about it 24/7!

**W:** Okay so lot of people have misconceptions about Palestine and sometimes they just don't know about the situation. I think many skaters have no idea that skateboarding is even happening in Palestine. What's your advice on how to open up a way to communicate with these people, perhaps for skaters in particular?

**N:** I think they should research it themselves and connect with Palestinians, or Palestinian skaters here. Maybe we can also do a website talking about our stories, and people from Japan or Palestine or where ever can learn about us through there.

**Z:** And I think that for every volunteer that comes with SkatePal, when they go back to their countries they should share their experiences and talk about Palestine.

**M:** Yes, of course.

**N:** That's why me and Zeina always try to take the volunteers to museums and teach them about the culture. Remember when we all saw each other at the Yasser Arafat museum?

**W:** That was really funny. I didn't know you guys then but I could immediately tell you were all skaters.

**N:** Yeah! So basically when any volunteer comes here, we will try to talk about the situation or take them to the museum...

**Z:** So then they can go home and talk about it. It's a really good way for people to learn more about Palestine.

**N:** Actually many volunteers didn't know a lot and I was shocked! And most of them are from the countries that have things to do with Israel...

**W:** A lot of British and American people...

**N:** Yeah exactly, so then they would be like, "Oh my god this is so bad, we didn't know about it. Our schools didn't tell us about this!" So I think we should tell them and they should share it.

**Z:** And I think Palestinian skaters like Maen and Aram should also keep telling people outside about the skating here...

**W:** Definitely. Something else that really struck me is that you guys are at the beginning of skate culture in Palestine. This is very interesting for many reasons but something that especially struck me was that there seems to be an equal number of boys and girls participating. Does this sound right?

**Z:** I think that's true.

**N:** For us, there's no difference for the people who skate, but even here (in Ramallah) girls can't do simple things, like riding a motorcycle by themselves.

**M:** They can't do whatever they want.

**N:** So let's say skateboarding is a good thing for Palestine—it's also good for lots of girls. That would be the best. It's interesting because as girls, we are the first generation of girls that skate so we should create a good image of skaters here.

**M:** Yes, that's what we're working on.

**Z:** But I think to some people there is a lot of difference...

**N:** Yes. When most people ask me about skateboarding, about half will be really interested in what I'm doing and why I'm skating. But the other half will say mean things and stuff just because I'm holding a skateboard.

**Z:** They think it's not a real sport.

**M:** Yeah...

**W:** Regardless, you guys are always turning around and teaching the newer skaters, right?

**M:** Yes, always.

**N:** One time me and Zeina were teaching these two kids and we didn't even know them at all! It turns out they weren't from Ramallah, but we were holding their hands and teaching them. It was great to let them know skaters are nice.

**M:** I always try to teach at Sareyyet, they're always kids everyday that ask to try it.

**N:** At the plaza, sometimes parents ask me to teach their kids, and I want to do it for sure! If I had someone to teach me from when I was really young, I would be so happy, so I want to give this opportunity to the them.

**W:** It's really inspiring because I'm sure it's not easy. I know there are situations, at Sareyyet for example, where some of the boys are being rude and annoying but you continue to show up and skate. And because you're at the beginning, I believe you have an opportunity to make the culture in Palestine!

**N:** That's what we are going to work on, I promise you!

**Z&M:** Yes, yes!

**W:** It's also great because there's no rules in skateboarding and when you teach you can do it however you want! I have to admit when I was your age, I don't think I would have been as interested in teaching younger

**kids...**

**Z:** Maybe it's because we also want them to learn more about skateboarding and help spread it and make the scene grow.

**W:** You guys are creating a community! I wanted to ask about Asira too though—now that some time has passed, what are your impressions of skating at the park?

**Z:** To me, skating a park feels so awesome.

**M:** It makes you feel like you are a real skater and you are really doing something,

**N:** Actually to be honest, that day was really weird. I was having fun, but also not... I was trying to do a lot of tricks and I did some but also couldn't. Then when I saw the (local) kids I thought they were so cool. That really gave me a hard push to keep going. Also when you gave me the camera, that really change me.

**W:** Really?

**N:** I will bring it everyday and just film everything! Keisha told me she's going to teach me how to edit, I'm so excited—I have so many ideas of what I want to do. So yes, that day really changed me, about everything in my life!

**Z:** It was nice that at a skatepark there are only skaters, no soccer players.

**M:** Yeah that's right.

**Z:** And those kids, it made me want to be as good as them. But the people there were also always cheering you up!

**N:** Sometimes being jealous is a good thing. This is so cool, I need to do it! I would be a little jealous, but the other half is telling me I need to do it. I should do it. That day is a really good day to remember, I will never forget it.

**W:** It's one thing to view skateboarding through a video and it's another to see it in person and watch the person doing it in front of you. It helps you understand how to do certain things.

**N:** Remember when we were at that place and you and Maen were trying to do that trick on that thing?

**W:** At the plaza? at Sareyyet?

**N:** No at that place...

**W:** Oh the rail!

**M: Rail?**

**W: On Rukab street.**

**N: Even though I've watched more dangerous videos before... but when I saw you guys actually trying it, I was terrified! I was praying that nothing would happen to you guys, but at the same time I really enjoyed it. It was scary.**

**Z: And I think when you're watching a video like someone doing a kick-flip it seems so easy, like I can do it. But it's not!**

**M: Haha**

**W: Okay, can you guys share something inspiring you'd like to share with the readers?**

**M: It has to do with skateboarding?**

**W: No, it can be about anything!**

**Z: I think people's videos on Instagram, of them trying and trying and not giving up, is so inspiring. People hurt themselves, but they don't give up until they get it!**

**N: I will also say that all the videos that I watch about skateboarding in any social media is inspiring because I see really, really bad falls, but they do it again! And also there is something that happened to me...a situation. So basically when we were in Asira, Aram was trying to do that trick and he was exhausted. I was really terrified that something will happen to him; he was sweating so much, not able to open his eyes, I thought he was going to...**

**M: Faint?**

**N: Yeah. I went to tell him to stop but then he said, "No Nadeen, I have to do it", and then he did it and he was so happy! So that really touched me inside and I said to myself I shouldn't give up about anything. Not just skating—anything! When I started skating I knew I was going to fall and hurt myself but it's so worth it. So in that situation, me telling him to sit and rest, and him looking at my eye and saying no I have to, and then him doing it and being so happy, that really touched my heart and changed me.**

**M: I agree about everything they said. One of the things that always inspired me is when I watch skate videos and all the people are so supportive. When I'm skating, people are just supporting me and telling me yeah you just have to keep it up, keep practicing, keep trying new tricks... Also when I share something on IG, especially about skateboarding—when the skaters following me are hyped of the progress I made and tell me not to stop skating and to keep the progress up. Sometimes I don't feel like I**

**did anything, but that inspires me to continue. And of course being with my friends and lovely people, it gives me good vibes! And skateboarding may make peace, who knows! In skateboarding everyone is accepted and there are no challenges between normal skaters as how it is with soccer, basketball or any other sports. Skateboarding is more about having fun and spending time hanging out with friends—you are able to make an unlimited number of friendships with skaters, so it's a way to help people understand each other!**

**N: The 50-50 grind was so hard, but when I did it I was screaming and telling everyone! The people I know and the people that I don't know, I was telling them that I did it. I asked Keisha to film me to take some photos, and I posted it everywhere.**

**Z: I also recently fell on my face and hip. The next day I went to visit my grandma and aunt and uncles and they told me to stop, that I was going to hurt myself more. But these comments, they actually make me want to keep skating more. No, I'll never stop!!**

**N: When I hurt my wrist, my mother told me I should just quit skating, but I said if I quit skating because I just fall once, I will stop forever! So I don't care, I will keep doing it!**

**W: You all really remind me of when I first started skating and how obsessed with it I was. It's all the same experience! I'm really happy we're brought together by this thing that's become very important in all of our lives. Thank you all so much and let's speak again soon!**

Find Malak here:

[www.instagram.com/malak\\_x\\_jm/](https://www.instagram.com/malak_x_jm/)

Find Nadeen here:

[www.instagram.com/a\\_yo\\_its\\_nadeen/](https://www.instagram.com/a_yo_its_nadeen/)

Find Zeina here:

[www.instagram.com/zaina.amous/](https://www.instagram.com/zaina.amous/)

Find Momoe here:

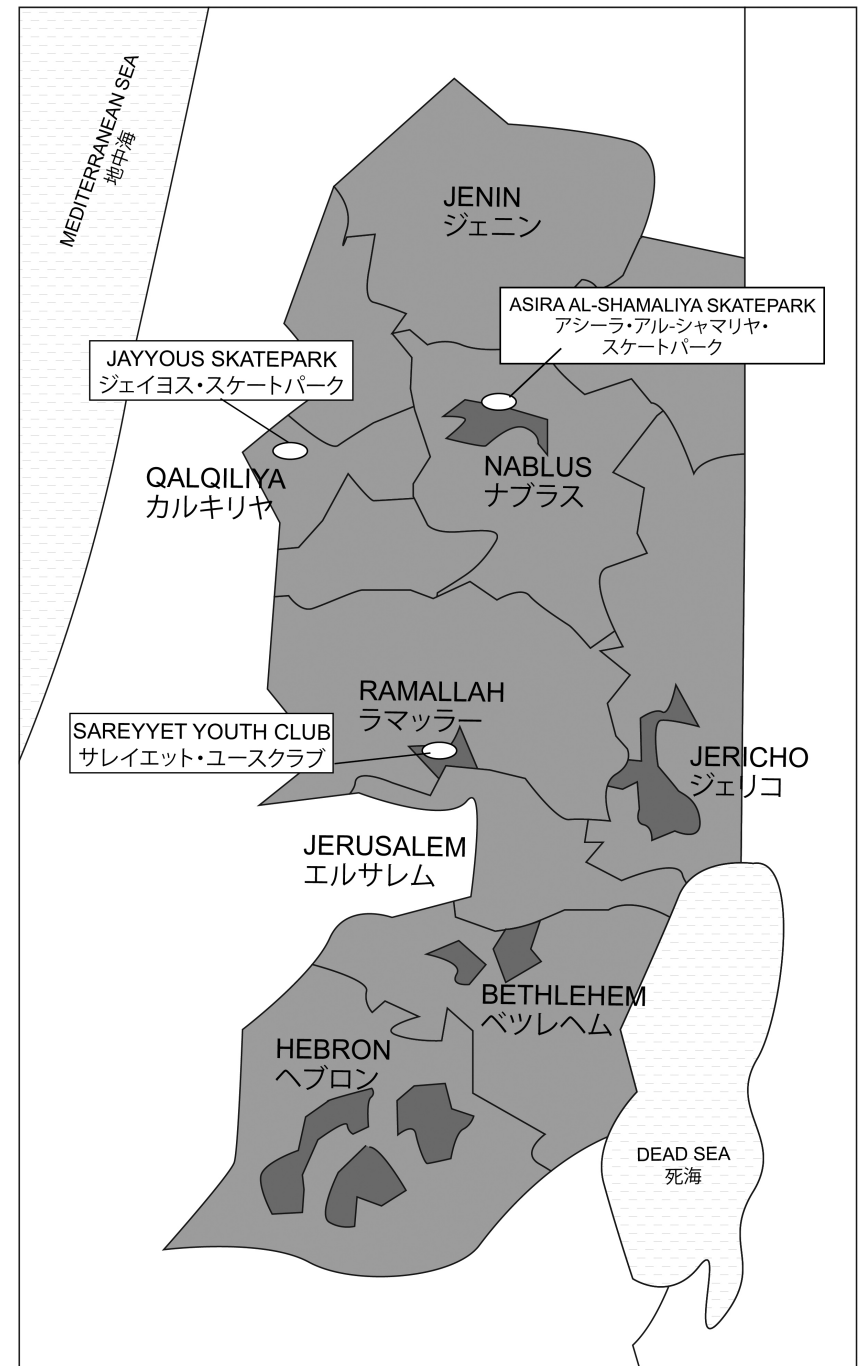
[www.instagram.com/momoenarazaki](https://www.instagram.com/momoenarazaki)

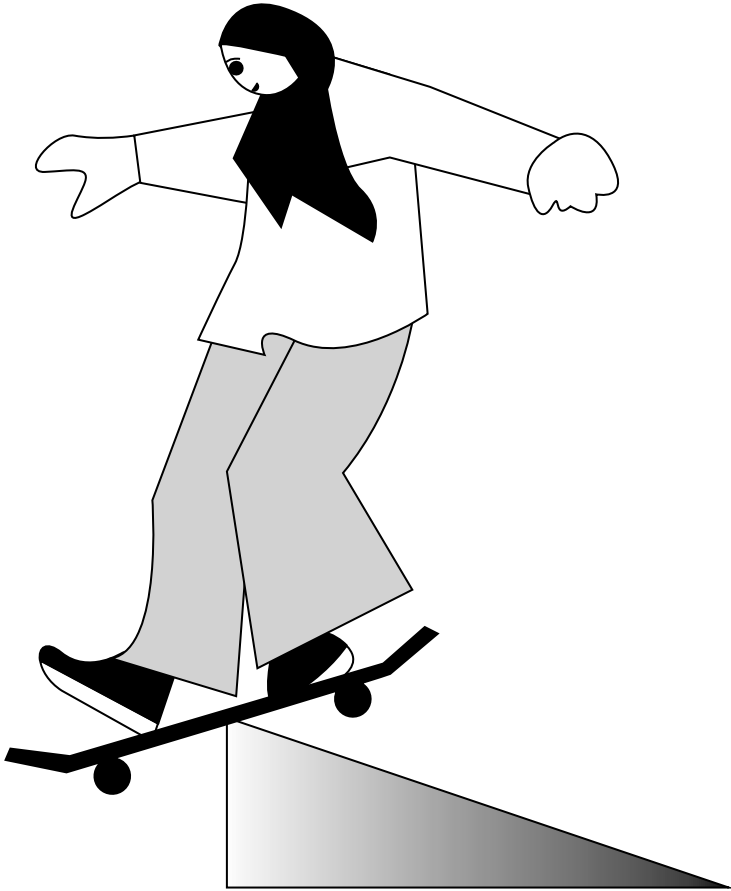
Find information about SkatePal here (and volunteer if you can!):

[www.skatepal.co.uk](http://www.skatepal.co.uk)

Video from my trip:

[www.vimeo.com/352395984](https://www.vimeo.com/352395984)





28

**“... in the history of humankind every act of destruction meets its response, sooner or later, in an act of creation.”**

**– Eduardo Galeano, Open Veins of Latin America**

